



Sea Breeze 85 湘南学園は、創立85年です

【特集】 平尾昌晃氏 惜しまれて逝く
あの思い出の部活動 吹奏楽部
新学園長就任のご挨拶

SEASIDE Web は、湘南学園同窓会で検索 <http://shogak-doso.org/>

クラシック音楽界第一人者の指揮者として大活躍 広上 淳一さん(高1977年卒)

学生にオーケストラの指揮をさせる独特の指導方法
『まず人を愛し、音楽を愛せよ』と説く庶民派教授

広上淳一さん(高25回生)は、学園在学中に小川尚子先生の芸術コースを専攻され才能を開花。尾高惇忠氏(高10回生)を師と仰ぎながら、現在の東京音楽大学教授、京都交響楽団常任指揮者として内外で活躍しておられるのは、皆さまご承知の通りである。

彼の人物像について、NHK交響楽団奏者の茂木氏が日経交遊抄紙面で「音大での広上さんは細かい技術的な指導よりも、とことん学生に指揮をさせ、問題点を考えさせる人。“オーケストラを常に尊敬して指揮してみる”と。まず人を愛し、音楽を愛せよという指導はオーボエの演奏にも役立った。」と語っている。

取材確認の際、「東京音大に指揮科の公開授業を見に来ませんか？」とお誘いを受け、二つ返事で出かけた。夕刻から学生たちが弦楽器中心に現代曲、管楽器も加わりチャイコフスキーを大オーケストラ演奏となり、指揮科の生徒が振る。広上教授は、演奏者を囲む20名近い教授、先生方2～3名を順次指名し、講評を生徒に聞かせ、やり取りに入り込む。生徒、教授陣の巧みな味のあるやり取りが広上淳一教授授業の真骨頂といえる。ちなみに、学生が授業でオーケストラを指揮する経験は、他の音大にはなく東京音大だけである。

指揮者故山本直純氏を敬愛し、その生き方にも共鳴、自身が常に庶民派を意識した発言、行動等も今後の指揮者として進む方向性も魅力的。これも学園卒業生らしい持ち味、柔軟性が嬉しい。

テレビドラマで人気を博した「のだめカンタービレ」で演奏中にジャンプする指揮者は、広上氏がモデルとされる。NHK大河ドラマ「軍師官兵衛」ではテーマ曲の指揮を担当。その人物像に惚れ込み、戦国歴史大好きで知識も玄人はだし、メール文末サインは“官兵衛”。

今年の数ある演奏会で特筆すべきは、7月に催されるサントリーホールでの日本フィルハーモニー交響楽団第702回定期演奏会である。学園の先輩、師と仰ぐ尾高惇忠氏の第60回尾高賞受賞作「時の彼方へ」を指揮する。

取材・編集 前川 力(高1961年卒・9回生)



広上 淳一 (ひろがみ じゅんいち)

1958年東京生まれ。東京音楽大学指揮科卒。

1984年キリル・コンドラシン国際青年指揮者コンクール優勝。

国際的活動がここから始まり、フランス、ドイツ、英国、オーストリア各地の交響楽団に客演として展開。また、日本フィル正指揮者を長期歴任。米コロンバス交響楽団音楽監督などを経て現在、京都交響楽団常任指揮者、東京音大指揮科教授。2014年度には京都交響楽団とともに第46回サントリー音楽賞受賞。趣味はカラオケ。



平尾 昌晃 (ひらお まさあき)

湘南学園で小中学時代を送る (中1953年卒・第4回生)

作曲家、歌手。社団法人日本作曲家協会常務理事、社団法人日本音楽著作権協会(JASRAC)理事を歴任。

2002年NPO福祉法人ラブ&ハーモニー基金を設立し、社会福祉に貢献。2003年紫綬褒章受章。

平尾昌晃さんは昨年7月21日(金)、都内の病院で亡くなられました。79歳でした。10月30日(月)、葬儀当日快晴でしたが秋風が強く、青山葬儀所には長蛇の参列者。式典では布施明、五木ひろしの2大歌手が祭壇に向かい、平尾さん作曲によるお互いのヒット曲を2人で熱唱。通常のコンサートではありえない光景です。小柳ルミ子は「瀬戸の花嫁」を歌手全員と亡き恩師に捧げる感動のお別れシーンをテレビでもご覧いただいたことと思います。

平尾さんは湘南学園をこよなく愛し、学園創立70周年での作曲、80周年記念コンサートでは舞台監督まで呼び、出演、プロデュース。福祉チャリティーコンサートへの学園在校生コーラス出演時は学園に来られアドバイスを頂き、同窓会室にも立ち寄っていただきました。

気さくで朗らか、在りし日の笑顔が目には浮かびます。御逝去を悼み、謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

「平尾さんと湘南学園」をテーマに、同じ4回生の高嶋浩さんにお話を伺いました。クラスメイトであり、平尾さんがもっとも信頼している友人で、平尾さんのNPO福祉法人ラブ&ハーモニー理事をされています。

平尾昌晃氏と湘南学園

「平尾君と湘南学園」がテーマであれば、一番の思い出は何といっても創立80周年記念コンサートではないでしょうか。何しろアリーナ会場が本物のコンサートホールに変身、照明から音響機材全て「大劇場：平尾昌晃ショー」レベルで開催されましたが、実はこれだけの規模であれば大きな経費がかかる難問を平尾君の一声でチャリティーコンサート形式になり、学園関係者は大助かり、お陰さまで大成功を収めましたことは皆様も既にご存知の通りです。

平尾君とは学園で小学校から中学卒業まで共に過ごし、その後の人生はご存知の通りロカビリー歌手の道に進み、色々世間を騒がしたこともありました。やがて作曲家として再登場、ヒット曲を重ね歌手を育てる立場で大成功、押しも押されぬ一流の作曲家となったことは皆さん周知のこと。

湘南学園をこよなく愛し、1つには湘南学園中学校時代に藤沢市卓球大会での優勝自慢、また意外かもしれませんが中学卒業証書がその後の学生時代を通じ唯一のものであったことです。10年前に学園から依頼されて作曲、ホームカミングデイには本人の出演ビデオレターの贈物。80周年以降も何度か学園に足を運んで現役生徒達にも指導してくれたこと等、彼の「生涯青春」、チャリティ活動を通じ、彼の優しさが忘れることのできないものとなっていますね。4年前平尾君に肺癌が見つかり、学園の皆さんにも協力いただいた平塚七夕チャリティーコンサート出演以降は、公私ともに車椅子生活が多くなり、老人ホーム、障害者施設への慰問コンサートに車椅子で出演。平尾君よりも若くて元気なお年寄りもおられる中で、彼が努力する姿を見てついに2年前の3月一緒に福祉施設へ。「人を助けるには音楽しかない」とする強い意志が、若い時代の彼を知る私の胸に理事を受ける決心をさせました。それからの平尾君は舞台には立てませんでした。立派に座長としてスケジュールをこなし、昨年5月末最後となった舞台脇から座ったままで、常にコンサートの最後に歌ったまさにラストソング「ラブミーテンダー」その時の歌声が今でも聞こえてきます。

取材：平成30年2月 文責：前川 力 (高1961年卒・9回生)

創部期の懐かしい思い出

僕は今年77歳。湘南学園の中学1年に進級したのは昭和29年でした。ポカポカした春の日、柳小路のB地区(当時、授業の一部はここのおんぼろ施設で行われていた)で帰る準備をしていたら、音楽教室の方からラッパの音が聴こえてきました。行ってみると高校生が数人、当時流行っていた「オーマイパパ」を吹いていました。音楽好きの僕が窓から覗いていたら「ブラバンに入らないか」と誘われ、そのまま入部。それがその後6年に亘る僕の吹奏楽人生の始まりです。当時のブラバンは中高一体で人数も20人弱、何となく遊び感覚で米軍のマーチばかり演奏していました。「錨を上げて」「士官候補生」「雷神」「海兵隊」などが定番で、今でも楽曲の細部まで覚えています。

当時は生徒の自主的な運営で、週一日芸大から打楽器科の広岡先生が指導に来られ、僕はその先生から小太鼓をみっちり仕込まれ、家へ帰ってからも卓球のラバーを加工してロール打ちの練習、自分でも驚くほど上手になりました。しかし高校生部員がいなくなり、中3はトランペットの松浦君と僕だけ。気付いたら僕は部長になっていました。一級下には達者な人たちもいましたが所詮人数不足。慌てて同級生に支援を求め、プレーヤーとして参加してもらい猛練習。新1年生からも後に部長となる大内君や小太鼓の愛弟子・友野(旧姓)あやちゃん達が入部し、何とか形がつくようになりました。



昭和31年文化祭での演奏(指揮は筆者)

中学を卒業した翌年、先輩づらをして後輩たちの練習を見に行ったら、専任の中村先生の指導で見違えるほど上手になっており、翌年は県下のコンクールで上位入賞しました。今でもその時の楽曲「夕風」の美しいハーモニーが耳に残っています。最後になりましたが、学園の音楽教育にご尽力され、陰になり陽向になりブラバンを支援して下さった小川尚子先生に心より感謝いたします。ブラバンは僕にとって懐かしい青春の1ページです。

長尾 伸昭(中学1957年卒 第8回生)

現役活動のご紹介



木村香純さん 2017年度の部員は55名(高校生30名、中学生25名)で、そのうち9割が女子という構成です。創部の頃は大部分が男子部員だったそうで、大きく様変わりしました。日頃の練習はパート練習を木曜を除く放課後に、全体練習を土曜と日曜に行っています。中学1年生の新入部員は各パート毎にプロのトレーナーの方や先輩部員から指導を受けて、ほぼ半年で全体演奏に加わるレベルまで成長します。

年間の演奏活動は、4月の中学校入学式に始まり、5月の体育祭、6月のオープンキャンパス、7月・8月の野球応援と吹奏楽コンクールへの参加、10月の学園祭、11月のアンサンブルコンテスト、1月の湘南吹奏楽の集い、3月の高校卒業式、春合宿を経て、定期演奏会で締めくくる1年となります。特に定期演奏会は1年の集大成であり、OB・OGとの合同演奏もあり、更に外部の方々にも聴いていただく貴重な機会ですので、選曲と演奏の完成度には特に力を注いでいます。



平成30年3月の第30回定期演奏会

6年間の部活動で一番嬉しかったのは、湘南地区コンクール・高校Bに中高合同で臨み、18年ぶりに金賞に輝き、県大会へ出場できたことです。一方、大所帯をまとめるには、選曲等での意見対立、活動資金の捻出、多様な雑事等で苦勞しましたが、吹奏楽を通して音楽好きの仲間と楽しく過ごせた6年間は、何にも代えがたい思い出です。

吹奏楽部には長い伝統があることを今回改めて知り、先輩方と共に、吹奏楽部を更に盛り立てたいと思います。先輩方も後輩の定期演奏会に是非足を運んでください。

木村 香純(2016年度部長 第66回生)



第1回OB・OG会(左端は長尾さん)

OB・OG名簿を作成しています。在籍された方々は同窓会事務局(P8参照)までご連絡ください。

取材・編集:立川元彦(高8回生)
大内康行(中10回生)

内山 勝さん(小1956年卒) 2017年秋に旭日双光章を受章



内山さんと湘南学園中学2年の松岡隼(はやと)君〔全国小学生シングルスベスト8、全日本ジュニア12歳以下シングルスベスト8・ダブルス準優勝、『修造チャレンジ』選出〕

内山勝さんは小学校5年生の時に片瀬テニス倶楽部でテニスを始め、鎌倉高校、中央大学のテニス部を経て全日本選手権出場。日本テニス協会では常務理事・専務理事を22年間務められ、昨年退任されました。東京オリンピックに向けて協会での仕事継続の話もありましたが、やはり現場での選手育成に携りたいとの情熱をお持ちで、現在も藤沢市内のテニスクラブの顧問として、選手育成のためコートに立ち、未来のトップ選手を育てています。

日本初のテニススクール開校に携った際、国際大会の日本代表監督経験者から指導を受け、すぐに全日本選手権に出場する実力の持ち主になりました。「教え方次第でこんなに変わるのか!」と指導者の道を志して米国に渡り、世界一のコーチと言われたハリー・ホップマンの下で指導法を学びました。帰国後は茅ヶ崎の湘南ローンテニス倶楽部で本格的な指導を始め、米国仕込みの指導法の評判を知り、多くの選手が門をたたきました。

小学4年から指導していた杉山愛さん(2000年全米オープンダブルス優勝、ダブルス世界ランク1位)については「明るくて常に笑顔。とにかく足が動いてモノが違った」と振り返ります。多くの名選手を育てても、指導法の探求に終わりはない。「杉山のバックハンドは世界一だったが、フォアハンドは苦手だった。今だったらもっと良くしてあげられる気がする」と選手育成への情熱は衰えを知りません。現在のトレーニングは昔のようにむやみにボールを長時間打つのではなく、体幹をしっかりと鍛えるということに主眼がおかれ、科学的なウェイトトレーニングが一番重要ということでした。これはどのスポーツにも通用することだと思います。内山さんのご指導で日本選手がウインブルドン等のグランドスラム大会を制する日が来ることを願っています。取材：丸林 徹

あの思い出の部活動 テニス部



写真は昭和55年7月の山中湖夏合宿、部員は男子16名女子20名OB6名参加で、引率は斉藤先生と四本先生。この時代はまだ「水飲むなー!」今では信じられませんね。

私は中学生になったと同時にテニス部に入学しました。従兄弟の大学生が近くの片瀬テニス倶楽部でテニスをしてるのがきっかけで、学校が休みの週末はその倶楽部で朝から日没までラケットを握っていました。

当時学園はクレイコートが1面で中学生と高校生が曜

日によってコートを使い分けしていました。中学時代は高校生の先輩と一緒に練習をし、教えてもらいかわいがってもらった記憶があります。

高校時代も学園コートは1面だけ、コートに立てない部活動は海まで走って行き砂浜で練習をしました。砂浜でテニス?すごい練習があるのです。バウンドさせないで打ち合うボレーボレー練習です。勝ち抜きやチーム戦などなど日が暮れるまで狂ったようにしました。

海からの帰りは負け越し部員が罰ゲームなどして爆笑で学校まで帰ったのも本当に楽しい思い出です。そのおかげで学園テニス部はボレーが上手かった?それは不明です。現在の学園のテニスコートは屋上に3面あり、一時は外部からプロコーチをつけるなどしたこともある様で、当時と比べると隔世の感があります。若手育成に定評のある内山勝先輩などのお力をお借りして、湘南学園のテニス部を強くするお手伝いをさせて頂きたいと思っています。頑張れ学園テニス部!!

丸林 徹(高1975年卒) 日本大学テニス部

子どもの生きる力を育てる みんなが子どもたちを見守ろう

そもそも、なぜ子どもに「キャリア教育」が必要なのでしょう？ 当たり前のことですが、子どもはいずれ親から自立し、自らの力で生きていく時期がきます。自立するためには職業に就くなど、何らかの形で社会に対し貢献することが求められます。しかし近年、若者の働くことへの関心・意欲などの未熟さ、コミュニケーション能力や基本的マナーなど社会人・職業人としての資質・能力の低下が指摘されています。キャリア教育は、進学や就職に焦点を絞らず、広く社会人・職業人として自立していくために必要な能力や態度を身に付けることを重視し、子どもの「生きる力」を育てることを目的としています。

第1回キャリア講座が開かれました



人工知能（AI）・社会のグローバル化・少子化・子ども教育機会の平等化（教育の無料化）・教師の多忙化等様々な社会変化と共に、子ども達の教育環境も大きく変わろうとしています。

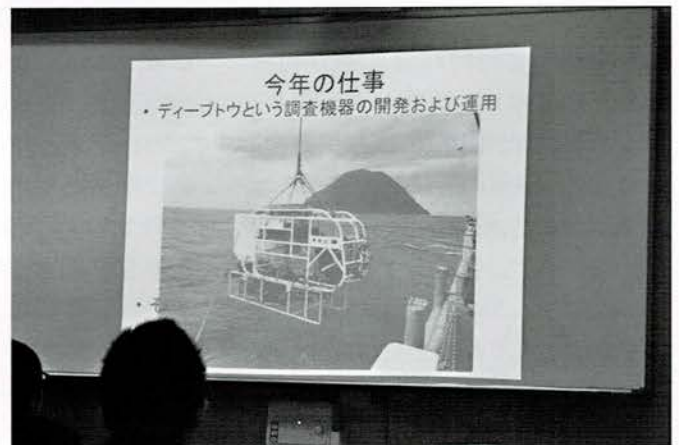
平成18年度から始まった「新学習指導要領」によると「記憶中心」の学習から見方や考え方を磨く知識活用型へ「関連づける」学習方針に変わっていきます。そのように教育現場が変化したため、実社会で活躍している同窓会OBに具体的な話をしてもらおう場を作りたいと、昨年学園から同窓会に打診がありました。5回の打ち合わせの結果、生徒達の自主的な行動を同窓会がサポートする“アクティブラーニング”形式で展開し、OBから職業や社会のしくみ、進路、人生の選択の場での指針等の考え方、きっかけ作りの話題提供と概ね方針が決まり、本年2月10日（土）放課後、生徒（中1～高2）22名が参加して、第1回「キャリア講座」をスタートさせました。



今回は国立研究開発法人海洋開発機構にお勤めの50回生、前田洋作さんを講師としてお迎えし開催しました。2時間2部にわたる講演は特に後半の「関連する勉強」としてのワークショップ、浮力の研究は生徒達に大好評となり、楽しい時間を過ごしました。前田さん有難うございました。（講座内容は録画保存しております。）

同窓会としましては、生徒達の自主性を重んじサポートに徹していきたいと考えており、創立時の手作り感、卒業生のポテンシャルの提供、そして子ども達が自信を持って巣立っていったらと、厳しい私立学校の存続に良い協力が出ることを考えました。何卒、皆様のご賛同、ご協力をお願い申し上げます。

桑島 宏忠（高1959年卒・第7回生）



前田洋作（まえだ ようさく）

中高を湘南学園で過ごす（高2002年卒・第50回生）

2006年3月 東京海洋大学水産学部 海洋環境学科卒業

2008年3月 東京海洋大学大学院 海洋環境保全学専攻
博士前期課程修了（化学海洋学研究室）

2008年4月 海洋研究開発機構（JAMSTEC）入社



フェリス女学院
文学部3年
学園中高卒業

かわむら りかこ
河村 理香子
高2016年卒



日本大学
経済学部3年
学園小中高卒業
2014年度生徒会
総務委員長

まつもと きょうこ
松本 京子
高2016年卒



桜美林大学
芸術文化学群3年
学園中高卒業

かしわぎ こうたろう
柏木 康太郎
高2016年卒

成人式を迎え、考えた将来のこと

松本 誕生日、成人式を迎え10代と20代の責任の違いを感じさせられ、ビシッと成人になったと思ひ知らされました。

柏木 大学に入り成人式を迎え、もう100%大人なんだ！これを機に頑張っていきたいと思う。将来は映画関係に携ってみたい。映画の宣伝・広報に携ってみたい。

河村 早生まれなのでまだ20歳になっていませんが、高校を卒業して2年、昔より大人になったと思います。

学園生活を振り返った印象は？

松本 小中高とずっと生徒会で学校の行事とかに携ってきました。私をそこで成長させてくれた学園だと思う。1年毎に成長してきた感があります。卒業した時には「やり切った！」感があり、学園が大好きで、どっぷり湘南学園生です。

柏木 中学3年の時に皆と違うことをやってみたくらいと思ひ、研修旅行の委員長をやリ、委員会などでとても自由にでき、この学園自体が私の個性を伸ばしてくれたと思ひます。また高2の時にここにいる松本さんに生徒会へ引き抜かれ、しっかりと自分の意見を持ち、先生に対しても先生の目をしっかり見て意見の言える人を初めて見て、世界にこんなヤツがいるんだと感心しました。

河村 中学入学式の時はドキドキしていました。川崎から通学している人など誰もいませんでした。校長先

生に「こんなに遠くから来てくれてありがとう」と言われとても嬉しく、担任の先生が座席表を作って、一人一人に「〇〇さん、おはよう！」と挨拶してくれました。この学校はすごいなと思ひました。大学に入って高校時代の生活を話し合ったりすると、湘南学園とはこんなに素晴らしい学校なんだと誇らしく思ひました。

卒業して2年、今学園に望むこと

松本 今までの学園生は個性豊かな生徒が多かった。学校としてもその個性を伸ばしてほしい。

柏木 後輩たちに対して、自分で考える力を持ってほしい。自分の意見・個性を持ち、周りに流されないような自分を確立してほしい。

河村 私たちの学年は個性の強い人が多かった。改めて思うに、先生方が一歩引いて見守りながらダメなところはダメと言ってきて、充分意見交換ができ、優しく導いてくれた。そのような信頼関係を持てたことはとても幸せでした。中高6年間にいろいろな行事などを通じて中学生から高校生まで縦の関係が培われます。何か相談できる先輩がいることは素晴らしいことです。そのような縦の関係を学校としても伸ばしてほしい。

縦の繋がりを伸ばしていくために

松本 学園は生徒主体だと思ひます。高2の時に先生からも生徒自治ということ言われ、肌で感じました。やはり行事は大きいと思ひます。普段は

絶対に話さない中1から高2までひとつのカラーで優勝目指して頑張れーとか、先輩にダンスを教えてもらおうとか。高2になると行事全体を運営していかなければならない。中学生も含め皆が楽しめるよう気遣いをして、縦割りの呼びかけをしました。

今だから後輩に伝えたい

河村 大学に行く時に進路について悩みました。教員になるにしても、教育学部でなく文学部を選んだのは、担任の先生に「教員になるにしても自分の分野を極めたほうが強いよ」と言われ、はっとして日本文学を選ぶことにしました。ちょっと後悔していることは、生徒会活動で忙しすぎて進路について充分考える時間がなかったことです。

文学部に入り、自分の世界観を持っている人が大勢いることに気づきました。自分は源氏物語を勉強したい、自分は万葉集・奈良時代の勉強をしたいという明確な意図を持っている人が大勢いるのです。自分はその分野に対して熱意が不足していると思ひました。でもどのように自分のやりたいことを見つけるか、何が自分に向いているのか、何を勉強していくのかという基本的な考え方を生徒会の活動で学びました。そのような経験が大学に入った時にとても役立ち、卒論のテーマも決まり、今では追いつけたかなと思ひています。

司会進行：前川 力(高9回生)

編集：鈴木利健(高10回生)

新学園長就任のご挨拶



湘南学園 学園長
湘南学園同窓会名誉会長

山田 明彦

卒業生の皆様の絆とネットワークに学ぶ

学園中高に30数年間奉職し、多数の在校生や卒業生と関わってきました。卒業生の方々のつながりの広さや深さに感動する場面が数多くあり、「学園らしさ」の大きな証なのだ、とたびたび感じてきました。

数年前の6月末、ある学年全体につどいが呼びかけられ、若き同窓生の過半数が集まったとのお知らせに接しました。創立80周年以後、学園カフェテリアで「成人を祝う会」が恒例となり、よくぞこんなに、と大勢が集まってくれます。旧交を温める晴れ着姿の同窓生に向けて、同窓会会長の寛様から有り難い御祝辞を頂いております。

この春まで担当した学年では、自分が中高で6年間、3年間、2年間と受け持った卒業生に合わせて十数名も、今度は保護者として再会するご縁に恵まれました。

現在の小学校や幼稚園にも卒業生の保護者がいらして、様々な動向をお聞きします。卒業生の集まりにお招き頂くと、在校生時代に接点の見えなかった意外な男女が親しく会話する場面にも接し、卒業後にも広がる友情の輪に気づかされます。

大震災の時に被災地で担当のお仕事があり、真っ暗な中を車でご家庭に戻られた仲間の体験が語られ、皆さんが固唾をのんで聞き入る場面があったことが心に残ります。大震災の直後には、アジアの大都会で活躍する若い卒業生から、現地在住の日本人や海外の卒業生が皆さん心配している、何か要請があればすぐに寄せて欲しい、との心強いメールがありました。

皆さんの間には、卒業後もそれぞれの人生の節目を祝い合い、それぞれの人生の軌跡を確かめ合い、幸せを祈り合う深い友情が育まれているのです。

湘南学園同窓会には、特に中高パートは創立80周年以後、圧倒的なご援助を頂いてまいりました。「教育振興基金」が創設され、グローバル教育やキャリア教育を中

心に絶大なご支援を頂いてきたのです。全米トップ大学を歴訪する貴重な研修ツアーに毎年複数の教員を参加させて頂き、「SGHアソシエイト校」や「ESD推進校」としての申請や研修、新企画の推進をサポートして頂きました。昨年からは始めた「クラウドファンディング」への挑戦も、同窓会のご支援なくして実現しませんでした。

この2月には同窓会と中高の共同企画で「キャリア講座」を開始して頂き、第1回は海洋探査をご専門とする卒業生の講義とワークショップが行われ、参加した中高生諸君は夢中になって取り組んでいました。

また「松ぼっくりフォーラム」を次々と開催して頂きました。多彩な重要テーマを掲げて、各界最高峰の卒業生の方々のレクチャーから学べる機会になりました。「湘南学園らしいグローバル教育」を探るため、PTA「てらこや」と共催でチーム湘南学園全体からパネリストを出して頂き、皆で追究するイベントも開催して下さいました。他校では決して出来ない学園らしい挑戦であり、特に深い感銘が残っています。

近年、学園同窓会への卒業生の加入率が劇的に向上したことは、本当に重要な大前進でした。卒業生の皆様は、各世代・各分野で大いに活躍されています。大学生の世代から、学園生主体の学校行事や総合学習、部活動などで存分に頑張ってきた成果を受けて、新たな対人関係を広げ、リーダーシップを発揮する方々が多いのです。

私の知る卒業生は社会の中堅世代が中心です。お仕事もご家庭も役割が数多く、私的な時間に恵まれない世代ともいえるでしょう。機会があれば学園の現状や変化を知りたい、訪ねてみたいと願う方々が遠隔地にも大勢おられることに気づきます。

卒業生の方々に立ち寄って頂ける、素晴らしい学園カフェテリアを運営して頂いています。同窓会室や共有スペースがあり、学園の歴史や昔を偲ぶ貴重な展示もして頂いております。幅広い世代の卒業生の皆様にお気軽に來園して頂き、様々なご尽力やお力添えを頂けるように、同窓会の幹部の皆様方のご教示を仰ぎながら努力してまいりたいと存じます。どうかよろしくご願い申し上げます。

山田 明彦 (やまだ あきひこ)

1980年 一橋大学社会学部社会学科卒業 出版社勤務を経て

1983年 湘南学園中学高校教諭

教務主任・総務主任・入試広報主任等を経て

2010年 湘南学園中学高校校長（6年間在任）

湘南学園創立70周年誌編集長、創立80周年誌委員長
神奈川高校文化連盟将棋専門部会長を歴任

2018年度同窓会総会開催のご案内

湘南学園同窓会正会員各位
 湘南学園同窓会会長 筧 元則

同窓会の皆様には益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。平素より同窓会の活動にご理解とご支援をいただき厚く御礼申し上げます。

さて、本年度の総会を下記の日程にて開催いたしますので、万障お繰り合わせの上、ご出席くださいますようにご案内申し上げます。

ご出席いただける方は準備の都合上、事前に同窓会事務局（下記参照）までご連絡ください。

記

日時：2018年6月23日（土） 午前11時より
 場所：学校法人湘南学園 事務棟3階 大会議室
 藤沢市鶴沼松が岡4-1-32
 議題：第1号議案 2017年度活動報告ならびに収支決算報告書承認の件
 第2号議案 2018年度活動計画ならびに収支予算書承認の件
 第3号議案 常任幹事改選の件
 総会終了後はカフェテリアでランチをお楽しみいただき、午後からの懇談会にもお気軽にご参加ください。

2017年度 収支決算報告（案）

2017年度 収支決算報告（案）
 (2017.4.1~2018.3.31)

第1号議案資料

収入の部	予算	実績	差異	備考
入会金	1,020,000	1,116,000	96,000	高校184名、小・中学校4名
年会費	1,600,000	1,038,000	-562,000	注1
前受年会費	300,000	320,000	20,000	注2
寄付	100,000	58,000	-42,000	
広告料	100,000	100,000	0	SEASIDE学園分
雑収入	10,000	28	-9,972	
収入合計	3,130,000	2,632,028	-497,972	
支出の部	予算	実績	差異	備考
松ぼっくりフォーラム	100,000	30,000	70,000	
学園祭	200,000	193,779	6,221	
その他	100,000	30,000	70,000	
事業部計	400,000	253,779	146,221	
SEASIDE発行費	1,400,000	1,363,192	36,808	印刷代及び郵送料
ホームページ関連	100,000	65,124	34,876	
取材費	50,000	10,584	39,416	
広報部計	1,550,000	1,438,900	111,100	
資料作成費	50,000	0	50,000	
資料部計	50,000	0	50,000	
卒業記念品	180,000	171,650	8,350	
事務費	100,000	66,300	33,700	
会費等受取手数料	80,000	38,520	41,480	
通信費	130,000	144,635	-14,635	電話・電報代：64,493円
会議費	150,000	139,582	10,418	
交際費	70,000	91,212	-21,212	
慶弔費	50,000	55,685	-5,685	
雑費	10,000	62,989	-52,989	交通費：62,144円
総務部計	770,000	770,573	-573	
設備費	100,000	0	100,000	学園サーバー接続費
寄付金	530,000	520,000	10,000	教育振興基金他
支出小計	3,400,000	2,983,252	416,748	
当期剰余金	-270,000	-351,224	-81,224	
支出合計	3,130,000	2,632,028	-497,972	

注1 年会費の内訳（2千×324名、終身1万×23名、終身2万×8名）
 注2 5年一括払いの内、4年前受40名分
 ※ 当期剰余金処理：当期剰余金は次期繰越金に繰入れます。

項目	前期繰越金	当期剰余金	次期繰越金
金額	6,789,528	-351,224	6,438,304

同窓会費納入のお願い

昨年度会費をご納入いただいた方々に厚く御礼申し上げます。

上記の収支表でご覧の通り、昨年度の会費収入が大幅減収となっており、今年度は会費納入の一層のご協力をお願い申し上げます。

■会費の種類

- ・年会費は2,000円です。
- ・5年一括払いは10,000円です。
- ・終身会費は、66~70歳の方は20,000円、71歳以上の方は10,000円です。

■会費の納入方法

- ・郵便局振込：SEASIDE同封の振込票（振込料無料）をご利用ください。

口座記号番号：00230-2-75579
 加入者名：湘南学園同窓会

同窓会室のご利用方法

カフェテリアの奥にある同窓会室は、15名程度まで利用できます。

■利用可能日 学園事務局休業日以外は原則として利用できますが、先着順となっております。

■利用方法 申込用紙に記入し、同窓会事務局に提出してください。

- ・TEL & FAX：0466-29-3669
- ・〒251-8505 藤沢市鶴沼松が岡4-1-32 湘南学園 同窓会
- ・Eメール：info@shogak-alm.com

■申込用紙 下記で入手できます。

- ・同窓会HPから印刷
- ・同窓会事務局（同窓会室）
- ・湘南学園法人事務局

■定期開室日 毎週土曜日10:00～12:00は当番が常駐しています。（祝日・学園事務局休業日は除く）

行事予定・学園人事

■同窓会行事予定

- ・6月23日（土）
2018年度 同窓会総会
- ・9月29日（土）～30日（日）
中高等学校祭で同窓会展示
- ・11月〈予定〉
学年幹事・サポーター会議

■学園人事

（敬称略）

理事長代行（副理事長）：

- 岩武 学（新）
- 学園長：山田 明彦（新）
- 中学校長：木下 貴志（新）
- 小学校校長：河本 洋子
- 幼稚園園長：古田 優子
- 法人事務局長：清水 利明
- P T A 会長：近藤えり子

SEASIDE Web は、湘南学園同窓会で検索 <http://shogak-doso.org/>